

2022 年度春季大会優秀講演発表賞受賞者

2022 年度春季大会は、2022 年 5 月 24 日(火)～26 日(木)の 3 日間、オンラインで開催しました。学生会員の講演発表のうち、下記の 8 名の学生会員に優秀講演発表賞を授与することが決定致しました。

大 宮 光 貴 (名古屋大学)

「レーザ付加製造多孔質アンカーを介した鉄/樹脂接合体の強度に及ぼすレーザ条件と Fe-Ti-B 粉末組成の影響」

小田木 優 斗 (名古屋大学)

「シリカナノ粒子ベシクルを利用した階層構造を有する多孔体の調製」

小 池 剛 大 (東京工業大学)

「PbTiO₃型ペロブスカイト酸化物 Bi_{0.5+x}Na_{0.5-x}VO₃ の負熱膨張」

花 田 滉 生 (大阪大学)

「Ti-Cu 積層造形合金における熱処理過程での金属間化合物の析出機構解明」

松 坂 匡 晃 (大阪大学)

「生体模倣応力感受システム構築によるオステオサイトを起点とした配向化骨誘導」

村 松 兼 志 (東北大学)

「レーザ粉末床溶融結合法を用いた Mo への Al₂O₃-ZrO₂ 共晶セラミックスコーティングの作製」

山 下 雄 大 (名古屋大学)

「高速 SCF 焼結法における圧粉体断面積スケールアップの検討」

Lieyang LI (The University of Tokyo)

「Sintering of hydroxyapatite under electric fields: field-assisted sintering followed by flash event」

(総評)

今春季大会での優秀講演発表賞対象発表は 30 件でした。Zoom によるライブ配信での発表となり、聴講者の顔が見えない状況の中発表し辛い面があったと思われます。発表資料については、オンラインゆえ間近で見ることができ、それぞれ創意工夫が感じられ、よかったです。

(一社) 粉体粉末冶金協会 会長 園田修三